

開講期	2026年度前期、2026年度後期			単位数	4.0単位
科目[授業]名	4032 人間科学論演習4			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	クラス指定必修			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	木曜3限				
教室	D110教室				
代表教員	制野 俊弘				
担当教員	制野 俊弘				
テーマと到達目標	<p>体育・スポーツに関する諸問題についてゼミ形式で講義を行う。特に、体育・スポーツに興味のある学生、保健体育の教員免許の取得を考えている学生はより専門的な学習の機会とする。また、能登半島支援を中心に、募金活動や学生自身によるスポーツイベントの企画・運営を行います。さらに岩手県奥州市に伝わる「大平念仏剣舞」を伝承するため、岩手県・奥州市と協力しながら伝講会などを企画する。</p>				
概要	<p>以下の学習を学生中心に進めることを基本とする。 (体育・スポーツ関係) ①体育・スポーツが抱える諸問題の学習、②論文や書籍の紹介と分析、③体育の授業へ反映 (能登支援関係) ②被災地における児童生徒の実態、②スポーツや運動での支援の意味、③被災地への直接・間接支援のあり方、④今後の防災対策、⑤スポーツイベントの企画・運営。 ③岩手県奥州市の「大平念仏剣舞」の伝承活動に取り組む。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション～ゼミの概要について説明～				対面授業
第2回	体育・スポーツが抱える諸問題①				対面授業
第3回	体育・スポーツが抱える諸問題②				対面授業
第4回	体育・スポーツが抱える諸問題③				対面授業
第5回	体育・スポーツが抱える諸問題④				対面授業
第6回	体育・スポーツが抱える諸問題⑤				対面授業
第7回	①震災における児童生徒の実態				対面授業
第8回	②被災地への直接・間接支援のあり方について考える				対面授業
第9回	③被災地における支援のあり方～スポーツ・運動を通して				対面授業
第10回	④被災地への直接・間接支援のあり方について考える				対面授業
第11回	⑤被災地支援のためのスポーツイベント				対面授業
第12回	⑥被災地支援のためのスポーツイベント				対面授業
第13回	⑦被災地支援のためのスポーツイベント				対面授業
第14回	被災地支援のためのスポーツイベント⑤				対面授業
第15回	前期のまとめ				対面授業
第16回	体育・スポーツの抱える諸問題⑥				対面授業
第17回	体育・スポーツの抱える諸問題⑦				対面授業
第18回	体育・スポーツの抱える諸問題⑦				対面授業
第19回	体育・スポーツの抱える諸問題⑧				対面授業
第20回	体育・スポーツの抱える諸問題⑨				対面授業
第21回	体育・スポーツの抱える諸問題⑩				対面授業
第22回	具体的な能登半島支援①				対面授業
第23回	具体的な能登半島支援②				対面授業

第24回	岩手県・奥州市の「大平念仏剣舞」の伝承①		対面授業
第25回	岩手県・奥州市の「大平念仏剣舞」の伝承②		対面授業
第26回	卒業研究発表①		対面授業
第27回	卒業研究発表②		対面授業
第28回	卒業研究発表③		対面授業
第29回	卒業研究発表④		対面授業
第30回	1年間のまとめ		対面授業
成績評価の基準	出席状況と企画・運営への参加状況を総合的に評価		
履修にあたっての留意事項	「スポーツ」と「被災地支援」を基本的な命題として授業を進めます。四年生は同時に卒業研究に取り組むこと。		
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細			
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件			

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	被災地でのイベントの参加費用や、ゼミ合宿(大平念仏剣舞の伝承)は基本的に自己負担となります。		
教科書	小山吉明「体育で学校を変えたい」創文企画 2200円	教科書(ISBN)	
参考文献	なし	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること		
--------------------	--	--	--